

お茶会だより 6月号

矢島保育園 R1. 6. 26 (水)

床の間

掛け軸 ~ かたつむり

香合 ~ 唐傘



6月のお茶会は茶花を生けました。

......

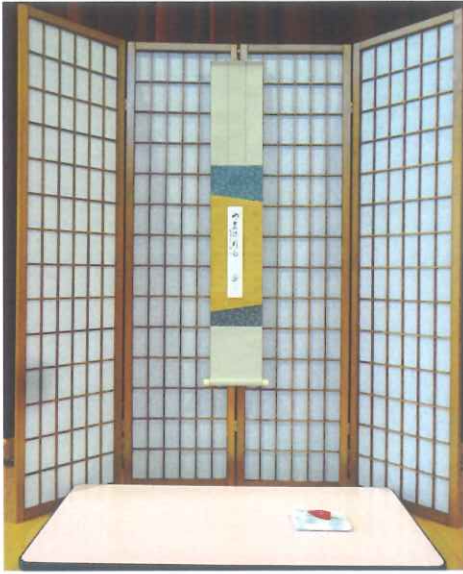
植田先生が床の間の紹介で、今日の香合である“唐傘”を見せてくれました。「こんな香合あるんだ〜」「かわいい」と興味を示していた子ども達。 沢山ある季節のお花や、香合、掛け軸と共に、植田先生のお話から梅雨の時期を感じている様子でした。

沢山ある種類の中から、花器とお花を選びました。植田先生の、「自由に、自分の好きなように選んでいいのですよ」という言葉に魅了され、目を輝やかかせながら「どれにしよう」と吟味して選んでいました。自分の感覚や感性でじっくり考えて選んだり、さっさと選んだり、イキイキしている姿を見て、素敵な空間、時間だなと感じました。

できた作品を自信たっぷりの表情で見せに来る子ども達。最後全員の作品をみんなで見ると時には、「〇〇ちゃんのがかわいい」「〇〇くんのいいね」と褒め合いながらも、「でもやっぱり、ぼくの、あたしのが一番いい!」と誇らし気でした。素敵な世界に一つだけの花が生けられましたね。



【今月の床の間】



《掛け軸》「かたつむり」 《香合》 「唐傘」

この日はお天気でしたが、掛け軸の「かたつむり」香合の「唐傘」と、梅雨の時期に合った取り合わせの床の間。いつもは茶花が置いてある所だけが、空いたままになっていました。今月は、ここにみんなが生けたお花を飾ります。



掛け軸 「かたつむり」
～掛け軸の下に描かれた“かたつむり”に気付いたでしょうか



香合「唐傘」

あの花入れには、これかなあ...

【お稽古の様子】

自分で“これ！”と思う花入れや花を選ぶ子ども達。その表情は真剣です。



どの花入れにしようか...



今月は一般の参加者(4名)と“子ども家庭福祉”の授業として矢島高校3年生(5名)も参加してくれました。



やっぱり自分で生けた花が、1番いいね

来月からは、お隣の“鳥海山麓地区総合案内所”の和室をお借りして、お稽古します。